

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 30 日現在

機関番号：35503

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25244038

研究課題名(和文) 東アジア文化圏の形成に果たした漢代郡県都市に関する学際的研究

研究課題名(英文) An Interdisciplinary Study on Cities in Han Dynasty Which Influenced the Formation of the East Asian Cultural Sphere

研究代表者

黄 曉芬 (HUANG, Xiao-fen)

東亜大学・人間科学部・教授

研究者番号：20330722

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 33,500,000円

研究成果の概要(和文)：漢～六朝の都城とベトナム・嶺南の郡県都市遺跡の考古学調査と学際的研究を行い、東アジア文明の伝播と受容の実態を探った。特にベトナム国家史跡の「交趾郡治・ルイロウ」を中心に三次の発掘調査より紅河デルタの政庁都市構造を把握し、磚瓦、金属陶磁器、漆器、絹、金銅製光背、インド産のガラス玉を含む1万点超の遺物を検出した。磚瓦の在地生産や鑄造工房跡の存在も確認された。これら発掘資料を経時的に分析した結果、文献には記されていない、ダイナミックなヒトとモノの移動が明らかとなった。当地では漢文化と在地文化が融合し、穏やかに文化交流がはかられたことが示唆され、古代東アジア文化圏の形成過程に新たな視点が提示された。

研究成果の概要(英文)：Based on archaeological investigation and interdisciplinary research on the central cities of Han and Six Dynasties, and cities of Lingnan area, the study unveils a real picture of cultural transmission and assimilation around East Asian Cultural Sphere. From three excavations conducted around LUY LAU of Jiaozhi Province, a registered historic site in Vietnam, we can see the structure of administrative centers in Red River Delta area. Over 10,000 pieces of relics were found, including metal, bricks, tiles, ceramics, wooden lacquer wares, silk, gilded copper Buddha statues with halo and Indian glass marbles etc. Local bricks and tiles production sites and workshops were also identified. Furthermore, we conducted researches on the relics and circulation of information over time within the area. It gives us a dynamic view of the movement of people and items in the way that literature cannot provide. It shows how Chinese culture and local customs were integrated and exchanged peacefully.

研究分野：東アジア文明史・考古学

 キーワード：東アジア文化圏 漢～六朝・隋唐時代 中央と周辺 郡県都市 交趾郡治・ルイロウ遺跡 文化の伝播と
 変容 海のシルクロード 学際的研究

1. 研究開始当初の背景

(1) 東アジアでは、漢字・儒教・律令制などの文化・社会制度が定着した要因として、中国古代文明の伝播を考えるのが定説である。大枠としてそのような理解は正しいとしても、中央から周辺への文化伝播という説明では、在地文化との接触により生じたであろう、双方向での影響や文化融合を見落としてしまう。地域文化の脈絡を重視する文明研究の進展により、東アジア各地で、漢文化の受容にも地域差があったことも想定される。東アジア文化圏の形成過程について、一次資料にもとづいた再検討が望まれる。

(2) 中国における考古学調査の成果として、漢の文明装置である中央都城と陵墓に関する知見が蓄積されつつある。一方で、該期における周辺地域の調査は希薄であり、文化変容に関する双方向的な検証の支障となっている。とくに中国嶺南・ベトナム地域は調査の空白が大きく、郡県都市の成立にあたって漢文化がどの程度受容されたのか、不明な点が多い。

2. 研究の目的

(1) 上記の問題意識に基づき、本研究では、中国に隣接する東アジア地域において、どのような文化変容があったかを考古学資料にもとづいて検証することを目指した。具体的には、中国大陸・朝鮮半島・ベトナム北部における郡県都市遺跡の資料収集、現地調査を実施し、都市計画、交易、物質文化等にみられる在地文化(思想・経済)の変容をとらえることを目指した。

(2) 本研究の力点をとおいたのは、歴史的空白が大きい、中国嶺南、ベトナム北部地域である。交趾郡治・ルイロウ城址を発掘調査し、遺構・遺物を多角的に分析するため、学際チームを編成し国際共同調査を実施、展開することで、東アジア文化交流の実態解明を具体的に迫った。

3. 研究の方法

漢代以降の文化変容過程を物質文化の側面から解き明かすため、二つの研究プロセスから本研究を推進した。

(1) 中国漢・六朝都城と陵墓、南越国・蜀漢郡県都市遺跡の現地調査、ベトナム北部古代都市遺跡調査、特に交趾郡治・ルイロウ城址の計画的な発掘調査で得た一次資料を集成する。

(2) 対象調査地で得られた遺跡・遺物データを考古学・文献史学・地理情報システム・文化財科学・環境考古学など学際的研究によって、郡県都市像を実証的に復元したうえ、文化交流・変容の地域差を検討、析出した。学際的研究成果報告書を上梓する。

4. 研究成果

漢～六朝の都城と嶺南・ベトナム北部の郡県都市遺跡の考古学調査と学際的研究を実施した。特にベトナム国家史跡である「交趾郡治・ルイロウ城址」を三次に渡る発掘調査では、予想以上の新発見や未知の事実などが相次いで判明し、古代東アジアにおける文化交流の実像を具体的に描き出すことに成功した。

(1) 漢～六朝史跡の現地調査と資料収集：中央帝都と陵墓(秦の雍城・咸陽都と帝王陵墓；漢長安城と帝陵；六朝建康城と帝王陵墓)、郡県都市と王墓(南越国番禺城と南越王墓；蜀漢城址と王墓)の現地検証と最新資料の収集を励み、情報交換、学術交流をはかり、テーマ別の国際学術シンポジウムを廣州・西安・東京・南京で開催した。

(2) 日越共同調査プロジェクトの企画調査と交趾郡治・ルイロウ城址の発掘実施によりルイロウ都市建設の構造プランを初めて解明した。遺構・遺物の考察と分析からはルイロウ城址 期～ 期編年を考案・提示した。それによって、漢が交趾郡を設置してから歴代の王朝交替をまたいで約800年間の繁栄盛衰の過程を時系列に辿ることができた。

(3) 高精度GPS調査、多衛星画像解析およびドローン空撮からは、紅河デルタ平野に創建された交趾郡治・ルイロウ遺跡(城郭・祠廟寺院・墳墓群)の立地景観・空間配置の特色を把握し、古代の為政者が都市建設に注入したイデオロギーを具体的に描き出した。

(4) 交趾郡治・ルイロウ城址発掘では、磚瓦、金属陶磁器、漆木器、絹、金銅仏像の光背片、南インド原産のガラス玉を含む1万点超の遺物を検出した。東アジアと南アジアにわたるヒト・モノ・情報の流通を把握した。

(5) ルイロウ城内の発掘で多量に検出した冶金関連遺物の考察と分析によって、ベトナム史上の謎とされるドンソン系銅鼓の鑄造工房跡、鉄の製造遺跡の存在が推定できた。

(6) 創建期の交趾郡治・ルイロウ城濠から動植物遺骸が多数見つかり、それにイネの籾・炭化米の検出、牛、豚、鼠、寄生虫の測定、花粉分析などの結果は、ルイロウ城址周辺には人間の暮らしの様子や米栽培、水田の分布が示唆された。

(7) 交趾郡治・ルイロウ遺跡は、中国文明装置として城郭都市を創建し、政庁施設や祠廟・仏寺の建立、都市のインフラ整備と共に建築・冶金技術の開発が盛んであった。こうして漢文化と在地文化が融合し、穏やかに文化交流がはかられた交趾郡(州)治・ルイロウは、約800年間栄えつづいたのである。古代東アジア文化圏の形成過程に新たな視点が

提示された。

(8) 本科研プロジェクトの課題調査と研究活動の実施展開と共に、日本・中国・ベトナム3カ国間の国際学术交流活動を推進してきた。交趾郡城の発掘調査は日越間の学術協定より実施し、南越国都と王墓の現地調査は日・中・越3カ国の学者を招請、参加した。研究期間中、自主企画開催した国際研究集会・国際学術シンポジウムは中国3回(広州、西安、南京)、ベトナム3回(ハノイ、北寧)、日本1回(東京)、計7回であった。

2014年3月27日(日・中・越)「南越考古国際学術会議」中国南越王博物館、広州市

2014年8月21日(日中)「陵墓考古学国際研究集会」中国陝西省考古研究院、西安市

2014年12月29日(日越)『日越学術調査研究会』ベトナム国家歴史博物館、ハノイ

2015年9月26-27日、国際学術シンポジウム「東アジア古代都市のネットワークを探る-日・中・越考古学最前線-」東京大学

2015年12月30日(日越)『日越学術調査研究会』ベトナム国家歴史博、北寧文化局

2016年3月24日(日中)「六朝考古学研究集会」、中国南京大学歴史学院、南京市

2017年1月3日(日越)『日越学術調査研究会』ベトナム国家歴史博、北寧文化局

過去4年間、課題研究調査、学際的研究を推進してきた結果、文献には記されていない、ダイナミックなヒトとモノの移動を明らかにした。古代東アジアの中央と周辺の関係は従来の想定よりも多様であり、ルイロウにおいては、漢の中央集権による一方的な併呑ではなく、相互の文化交流があったことが示された。さらに、東アジアと南アジアの結節点としての機能も示唆される。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計20件)

黄 曉芬、阮文団、会下 和宏、鶴澤 和宏 他「ベトナム交趾郡治・ルイロウ遺跡第3次発掘調査」『日本考古学協会第83回総会研究発表要旨』査読有、2017、72-73

黄 曉芬、宮原 健吾、阮文団、宇野 隆夫「高精度 GPS 測量・ドローン撮影からみたベトナム交趾郡治・ルイロウ遺跡」『日本考古学協会第83回総会研究発表要旨』査読有、2017、190-191

Xiaofen Huang “The Study and Excavation of Qin Straight Road”, The Eighth World Archaeological Congress (WAC-8 Kyoto) 査読有、2016、182-183

Xiaofen Huang, “Excavation of Han Jiao-zhi Province in Vietnam and New Discoveries”, The Eighth World Archaeological Congress (WAC-8 Kyoto) 査

読有、2016、330-331

黄 曉芬、阮文団、木下 保明、黎文戦、会下和宏 他8名「ベトナム交趾郡治・ルイロウ遺跡第2次発掘調査」『日本考古学協会第82回総会研究要旨』査読有、2016、90-91
諫早直人「馬匹・馬具生産」『季刊考古学』第137号、雄山閣、2016、22-26

諫早直人「新羅における初期金工品の生産と流通」『日韓文化財論集』奈良文化財研究所学報第95冊、査読無、2016、101-127

黄 曉芬「東洋最古のハイウエー-秦直道の発掘と認識-」『山陰考古学研究会』第44回、査読無、2016、1-6

黄 曉芬、一瀬和夫、阮文団、木下保明、鶴澤和宏「ベトナム、ルイロウ古城・東墳墓群第1次発掘調査」『日本考古学協会第81回総会研究要旨』査読有、2015、86-87

惠多谷雅弘、黄 曉芬、阮文団 他「古代都市遺跡調査における多衛星データの応用について」『日本考古学協会第81回総会研究要旨』査読有、2015、220-221

諫早直人、鈴木勉「古墳時代の初期金銅製品生産 福岡県月岡古墳出土品を素材として」、『古文化談叢』第73集、査読有、2015、149-209

大賀 克彦、田村 朋美「古墳時代前期のナトロンガラス」『古代学』第7号、2015、1-11

佐川 英治「世界史Q & A：中国古代の「漢民族」について教えてください」『歴史と地理』第686号、2015、45-47

佐川 英治「六朝建康城と日本藤原京」『南京曉荘学院学報』2015-4期、査読無、2015、89

吉井秀夫「瓦を通して見た古代韓国と日本の海上交通」『海洋文化研究』第10輯、査読無、2014、51-83(韓国語)

吉井秀夫「Structure and characteristics of Baekje tombs in comparison with tombs of Japan」『Tombs;Baekje Historic Areas Studies Series vol.3』査読無、2014、208-227
高橋 照彦「都市とは何か、それはいつ誕生したか」『考古学研究会60周年記念誌 考古学研究60の論点』考古学研究会、査読有2014、61-62

黄 曉芬、阮文団、中村大介、大賀克彦 他「ベトナム北部 LUY LAU 古城と清姜・参亜漢墓群の調査成果」『日本考古学協会第80回総会研究発表要旨』査読有、2014、84-85

惠多谷雅弘、鶴間和幸、中野 村松、黄曉芬 他9名「衛星データを用いた秦始皇帝陵の陵園空間に関する一考察」『中国考古学』第14号、査読有、2014、101-114

Oga, K. Tamura, T. Ancient Japan and the Indian Ocean Interaction Sphere Chemical: Compositions, Chronologies, Provenances and Trade Routes of Imported Glass Beads in the Yayoi-Kofun Periods (3th Century BCE - 7th Century CE). Journal of Indian Ocean Archaeology, 9. 査読有、2013、35-65
高橋照彦「遼寧省朝陽出土三彩等に関する

検討 金属製品や陶製品を中心に」『朝陽地区隋唐墓の整理と研究』奈良文化財研究所学報第91冊、査読無、2013、223～247

〔学会発表〕(計26件)

黄 晓芬「ベトナム交趾郡治・ルイロウ遺跡第3次発掘成果」『日越学術調査研究会』2017.1.3、ベトナム国家歴史博物館、北寧市

黄 晓芬「越南交趾郡治・羸陵遺跡の発掘成果」『日中六朝文化学術研討会』、2016.3.24、南京大学

黄 晓芬「中国古代都城と陵墓の研究」中国江蘇師範大学歴史文化学会(特別講演)2016.3.27-28、徐州市

Xiaofen Huang “The Study and Excavation of Qin Straight Road”, The Eighth World Archaeological Congress (WAC-8 Kyoto)2016

Xiaofen Huang, “Excavation of Han Jiao-zhi Province in Vietnam and New Discoveries”, The Eighth World Archaeological Congress, 2016

黄 晓芬「東洋最古のハイウエー-秦直道の発掘と認識-」『山陰考古学研究会』第44回研究集会、2016.9.3、出雲市

Xiaofen Huang, “A Comparison Between Ancient Roads of Eastern and Western Civilizations - Qin Straight Road vs Roman Road -”, VII International Scientific Conference “Ancient Cultures of Mongolia, Baikal Siberia and Northern China” 2016.10.3～7日、Russia Siberia

黄 晓芬「ベトナム交趾郡治の発掘を通してみた古代東アジア文化交流の実態」平成28年度京都大学考古学談話会大会、2016.11.12

黄 晓芬「越南交趾郡遺址的发掘调查与认识」『汉代海上丝绸之路考古与汉文化国际学术研讨会』2016.11.23、中国北海市

吉井秀夫「百濟・武寧王陵の木棺」『日中六朝文化学術研討会』2016.3.24、南京大学

高橋照彦「六朝墓にみえる阮咸の琵琶と正倉院宝物」『日中六朝文化学術研討会』2016.3.24、南京大学

木下保明「ベトナム交趾郡遺跡の出土磚」『日中六朝文化学術研討会』2016.3.24、南京大学

佐川英治「中国古代の都城プランと天の祭祀/古代東アジアの都城の理念」韓国木簡学会、2016、ソウル

黄 晓芬「漢帝国内部の交趾郡治を掘る」国際学術シンポジウム『東アジア古代都市のネットワークを探る 日・越・中の考古学最前線』2015.9.26、東京大学

黄 晓芬、国際シンポジウム『草原遊牧民族とシルクロード』モンゴル・ウランバートル、“A Comparison Between Ancient Roads of Eastern and Western Civilizations- Qin Straight Road vs Roman Road -” 2015.10.7

黄 晓芬「交趾郡治・ルイロウ遺跡第2次発掘成果」『日越学術調査研究会』2015.12.30、ベトナム国家歴史博物館、北寧省文化局

佐川英治「六朝建康城と日本藤原京」国際シンポジウム『東アジア古代都市のネットワークを探る 日・越・中の考古学最前線』2015.9.27、東京大学

吉井秀夫「今西龍が収集した楽浪埴とその歴史的意義」『東アジア古代都市のネットワークを探る 日・越・中の考古学最前線』2015.9.26、東京大学

新津健一郎「漢晋時代の益州・交州関係と南中大姓-土着刺史出現の背景-」同上『東アジア古代都市のネットワークを探る 日・越・中の考古学最前線』2015.9.26、東京大学

黄 晓芬「地中海の葬制」(国際研究集会)『陵墓考古学国際研究集会』2014.8.21、西安市

②黄 晓芬「漢墓と漢帝国の影響」(第27回浜田青陵賞記念シンポジウム)『波濤をこえて 古代東アジアの交流史』2014.9.20、朝日新聞・大阪岸和田市

②黄 晓芬「棺槨説」『記念馬王堆漢墓発掘四十周年国際学術研討会』2014.12.12、長沙市

③黄 晓芬「交趾郡治・ルイロウ遺跡第1次発掘調査成果」『日越学術調査研究会』2014.12.29、ベトナム国家歴史博物館、ハノイ

④一瀬和夫「日本古墳時代の人物埴輪群像」(国際研究集会)『陵墓考古学国際研究集会』2014.8.21、西安市

⑤佐川英治「宗廟と禁苑 中国古代都城の神聖空間」『神聖的空間與空間的神聖--中古中國宗教中空間因素的構成與展開』復旦大學中華文明國際研究中心2013.8.16、上海

⑥佐川英治「中国中古の都城設計と天の祭祀」『中国古中世学会国際学術シンポジウム』2014.9.19、ソウル大学

〔図書〕(計32件)

黄 晓芬編著、フジデンシ出版『交趾郡治・ルイロウ遺跡 2014-15年度 発掘からみた紅河デルタの古代都市像』2017、210

黄 晓芬・鶴間和幸編、汲古書院『東アジア古代都市のネットワークを探る』国際シンポ論集、2017、11(出版予定)

黄 晓芬 他、科学出版社『記念馬王堆漢墓発掘四十周年国際学術研討会論文集』2016、741

森下章司・黄 晓芬、科研成果報告書『五斗米道の成立・展開・信仰内容の考古学的研究』2016、175

佐川英治、勉誠出版、『中国古代都城の設計と思想-円丘祭祀の歴史的展開』2016、301
吉井秀夫 他、岩波書店『岩波講座 日本歴史』22(歴史学の現在)2016、105-132

高橋照彦編、大阪大学『古代日本とその周辺地域における手工業生産の基礎研究』2016、285

黄 晓芬、黎文戦、ベトナム国家歴史博物館『Bảo cáo kết quả khảo sát và khai quật di tích thành cổ Luy Lâu 2015』(ルイロウ

遺跡 2015 発掘調査概報)、2016、293 (ベトナム語)
諫早直人 他、KADOKAWA 『騎馬文化と古代のイノベーション』 発見・検証日本の古代、2016、297
諫早直人 他、歴博国際シンポジウム論集『古代日韓交渉の実態』2016、136
黄 曉芬編、東亜大学『東アジア古代都市のネットワークを探る 日・越・中の考古学最前線』国際学術シンポジウム(予稿集)2015、112
黄 曉芬編著、東亜大学『交趾郡治・ルイロウ遺跡』科研基盤A成果報告書、2015、172
高橋照彦 他、奈良文化財研究所『古代官衙・集落研究会報告書 官衙・集落と土器1 宮都・官衙と土器』奈良文化財研究所研究報告 第15冊、2015、112
高橋照彦 他、大阪大学考古学研究室『21世紀初頭における古墳時代歴史像の総括的提示とその国際発信』2015、198
佐川英治 他、中西書局、『中国中古史研究 中国中古史青年学者聯宜会会刊』第5巻、2015、128
會下和宏、同成社、『墓制の展開にみる弥生社会』2015、275
吉井秀夫 他、韓国学中央研究院出版部『三国時代国家の成長と物質文化』2、2015、190
黄 曉芬、張得戰、ベトナム国家歴史博物館『Bảo cáo kết quả khảo sát và khai quật di tích thành cổ Luy Lâu 2014』(ルイロウ遺跡 2014 発掘調査概報)2015、384 (ベトナム語)
黄 曉芬 他、大阪岸和田市・朝日新聞(第27回浜田青陵賞記念シンポジウム)『波濤をこえて 古代東アジアの交流史』2014、90
高橋照彦・中久保辰夫編著、大阪大学出版会『野中古墳と「倭の五王」の時代』2014、96
②①佐川英治 他、復旦大学出版社『神聖空間 中古宗教中的空間因素』2014、233
②②黄 曉芬 他、同成社、『古墳時代の考古学』9、「21世紀の古墳時代像」2014、290
②③黄 曉芬編著、東亜大学『漢魏帝国の空間構造 - 都城・直道・群県都市 - 』2013、198
②④黄 曉芬 他、科研報告書(東京大学)『大青山一帯の北魏城址の研究』2013、180
②⑤黄 曉芬 他、明治大学研究クラスター、『交響する古代 列島の文明と日本古代学』国際学術研究会予稿集2013、240
②⑥鶴間和幸・惠多谷雅弘監修、学習院大学東洋文化所叢書D-CODE『宇宙と地下からのメッセージ - 秦始皇帝陵とその自然環境』2013
②⑦一瀬和夫、学生社『考古学の研究法』2013、217
②⑧諫早直人 他、同成社『技術と交流の考古学』2013、359
②⑨會下和宏 他、今井書店『神話・青銅器・たたら 古代出雲文化フォーラム』2013、197

③⑩佐川英治 他、生活・読書・新知三聯書店(北京)『江南地域文化的歴史演進文集』2013、472
③⑪高橋照彦 他、同成社『古墳時代の考古学』第6巻「人々の暮らしと社会」2013、251
③⑫大賀克彦 他、同成社『古墳時代の考古学』第4巻「副葬品の型式と編年」2013、350

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

<http://www.toua-u.ac.jp/guide/project/kaiken01.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

黄 曉芬 (HUANG Xiaofen)
東亜大学・人間科学部・教授
研究者番号： 20330722

(2) 研究分担者

吉井 秀夫 (YOSHII Hideo)
京都大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号： 90252410

高橋 照彦 (TAKAHASHI Teruhiko)
大阪大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号： 10249906

鶴澤 和宏 (UZAWA Kazuhiro)
東亜大学・人間科学部・教授
研究者番号： 60341252

佐川 英治 (SAGAWA Eiji)・准教授
東京大学・大学院人文社会系研究科
研究者番号： 00343286

惠多谷 雅弘 (ETAYA Masahiro)
東海大学・情報技術センター・主任技師
研究者番号： 60398758

志賀 智史 (SHIGA Satoshi)
独立行政法人国立文化財機構・九州国立
博物館学芸部・主任研究員
研究者番号： 90416561

(3)連携研究者

會下 和宏 (EGE Kazuhiro)
島根大学 学内共同利用施設等・教授
研究者番号： 90263508

米田 穰 (YONEDA Minoru)
東京大学・総合博物館・教授
研究者番号： 30280712

大賀 克彦 (OGA Katuhiko)
奈良女子大学 古代学学術研究センター
・特任講師
研究者番号： 70737527

森下 章司 (MORISHITA Shoji)
大手前大学・総合文化学部・教授
研究者番号： 00210162

宇野 隆夫 (UNO Takao)
帝塚山大学・文学部・教授
研究者番号： 70115799

一瀬 和夫 (ICHINOSE Kazuo)
京都橘大学・文学部・教授
研究者番号： 70460681

磯永 和貴 (ISONAGA Kazuki)
東亜大学・人間科学部・准教授
研究者番号： 10201922

中村 大介 (NAMAMURA Daisuke)
埼玉大学・教養学部・准教授
研究者番号： 40403480

諫早 直人 (ISAHAYA Naoto)
独立行政法人国立文化財機構・奈良文化
財研究所都城部・研究員
研究者番号： 80599423

槇林 啓介 (MAKIBAYASHI Keisuke)
愛媛大学・東アジア古代鉄文化研究
センター・准教授
研究者番号： 50403621

(4)研究協力者

木下 保明 (KINOSHITA Yasuaki)
京都市埋蔵文化財研究所

佐藤 浩司 (SATO Koji)
北九州市埋蔵文化財調査室

新津 健一郎 (NIITU Kenichiro)
東京大学・大学院人文社会系研究科
・博士後期課程

宮原 健吾 (MIYAHARA Kengo)
京都市埋蔵文化財研究所

小鹿野 亮 (OGANO Akira)
筑紫野市歴史博物館